

9-11 と「新しい」中東

2011 年 9 月 11 日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

アシェル・イントレーター

2011 年 9 月 11 日の今日、ちょうど 10 年前の貿易センタービル攻撃で犠牲になった人々を記念する式典がイスラエルで行われます。これらの 10 年間は中東での新しい現実を構築するのを見続けた期間でした。イスラエル周辺のイスラム諸国の大半で暴力蜂起が起きました。無政府主義、流血、そしてイスラム過激派による乗っ取りが蔓延しました。アメリカが失われた者に対して喪に服す時、そしてイスラム過激派の蔓延を縛るために、祈ろうではありませんか。

エジプトのイスラエル大使館に暴徒が攻撃する

9 月 9 日金曜日の夜、午後の祈りの後、大量の不満を抱いたイスラム教徒のエジプト人の群衆がカイロのタヒリール広場に集まりました。彼らの怒りのはけ口を求めて、数千人がイスラエル大使館を攻撃するために移動したと一人の暴徒が報告しました。彼らは防御壁を壊し建物の中に入りました。建物の中に残った 6 人の警備担当者を除いてすべてのイスラエル人外交官と彼らの家族は脱出しました。

9 月 10 日夜通しネタニヤフ首相は暴徒を止めるようにエジプト政府と安全保障当局者と接触しようとしたが、反応はありませんでした。ネタニヤフ氏はそこで直接アメリカのオバマ大統領に電話し助けてくれるようお願いしました。オバマ氏はエジプトと連絡し介入を要求しました。武装した車両に乗ってエジプトの軍隊が現れ、催涙弾を発射し、実弾までも発射しました。多くが負傷し、3 人の活動家が殺されたと報告されています。

建物の中に 6 人の警備担当者が閉じ込められました。ネタニヤフ氏は警備チームのリーダーである「ヨナタン」と電話で話をしました。彼らと暴徒との間をたった 1 枚の扉を隔てている時、エジプトの特殊部隊が到着し彼らを救い出し、最後の瞬間で国際的な惨事を回避することが出来たのです。

9 月 10 日の朝、ネタニヤフ氏はオバマ大統領とエジプト軍を感謝する声明を発表しましたが、彼はこの状況の重大性を強調しました。ある国が他国の大使館とその人員を守ることができないなら、明らかにそこには外交的な関係はないのです。エジプトでの蜂起はイスラエルとの 30 年の和平条約を危険にさらすのです。

イスラエルに関するトルコの意見

今月トルコとイスラエルとの間の関係がさらに悪化し、トルコのエルドアン首相はイスラエルとの外交的、商業的、そして軍事的な協定を取り消しすると宣言しました。しかし、すべてのトルコ人がそのように感じたわけではありません。ここに、2011年8月23日のフリエット・デイリーニュースに掲載されたコラムニストのブラク・ベクディル氏の記事の抜粋を掲載します。

エルドアン首相がイスラエル大統領シモン・ペレス氏に「あなたがた（ユダヤ人）は殺し方をよく知っている。」と述べてから2年半経ちました。エルドアンはまた世界のこの地域の和平の主な妨害はイスラエルであると、またユダヤ人国家を「憎しみと敵意を広げる中東の化膿する腫瘍である」と宣言しました。では誰が最も良く殺すことを知っているのかを特定してみようではありませんか。

シリア人の死者は毎日その数を増やし、2,000人に近づいています。そして、トルコ人・クルド人の死者数はすでに1984年より4万人を超えました。このラマダンの間のみに限定しても、イスラム・クルド人対イスラム・トルコ人の戦争においてクルディスタン労働者党の死者数が50人に達しました。

スーダンは通常中東の中に入らないので、そこでの大虐殺は除外しましょう。また、1971年の、125万人に及ぶ西パキスタンによる東パキスタン（バングラディシュ）人大虐殺をも除外しましょう。また、1991年～2006年アルジェリアのイスラム主義者と政府との戦いで20万人の死者をも除外しましょう。

単純に、厳密に中東を調査すると、イラン・イラク戦争において全員がイスラム教徒で百万人が殺されているという結果が得られます。イスラム教徒の少数民族30万人がサダム・フセインに殺され、イスラム革命時にイラン人8万人が殺され、1970年～71年のヨルダン政府によるパレスチナ人に対する戦いである「黒い9月事件」で2万5千人が殺され、そしてシリアのハマで前アル・アサド（訳注：現在のアル・アサド大統領の父）によってイスラム主義者2万人が殺されました。世界保健機構が推計するイラクにおけるオサマ・ビンラディンによる大虐殺はすでに数年前に15万人に達しています。

1948年以来、イスラム教徒1100万人ほどが暴力によって殺されました。そして6年間のイスラエルに対するアラブ戦争の間、3万5千人(0.3%)、あるいは315人中1人がこの戦争の犠牲になりました。それと対照的に、90%を超える人々が同じイスラム教徒によって殺されたのです。

私はトルコ人クリスチャンの友人に、どうやってこのジャーナリストはこれを書くことができ、そして生きながらえているのか尋ねました。彼のコメントは、この記事はおそらく反対派の新

聞の英語版に掲載されたのだと。もしトルコ語で掲載されたら、彼は自分の死刑執行令状に署名したことになるのです。この批評に対する何百もの「応答」は、彼のコメントについて好意的なものが大半を示しています。どうかベクディル氏の守りがありますよう、お祈り下さい。

エルサレム中の祈りの集会

エディ・サントロ

9月6日火曜日、エルサレムにある7~8つのCongregationのメンバーらが集まり、共同で祈りの集会を行いました。これはCongregation間の大いなる一致であり、エルサレム地域の牧師たちの友情によって生まれたものです。集会におけるこの一致は、祈りに強力な聖霊の油注ぎをもたらしました。私たちは中東の周辺諸国のために、これから起こる国連での行事のために、イスラエルの救いのために、そしてさらに執り成しを行いました。これらの祈りは矢継ぎ早に行われ、そして真剣なものでした。全員が参加しました。講堂はいっぱいでした。

第二エルサレム会議に向けて

ダニエル・ジャスター

「第二エルサレム会議に向けて」集会が今週エルサレムで行われ、とりわけ今年はヨーロッパやアフリカの主要な教会宗派の指導者の主催で開催されました。この集会はイスラエルのメシアニック運動に対する、公に世界中の教会の支援と理解を得るために設けられた対話です。どうか、この集会から明快な戦略とビジョンの同意が現れるよう、そしてまたアジアの教会指導者層に対して突破口があるようお祈り下さい。

注:「第一エルサレム会議」は、使徒 15 章に述べられている主の弟子や使徒らによって開催された会議で、「第二エルサレム会議」は、現在世界の主要キリスト教会とメシアニックジューの団体を結集させて開催しようとしているものです。現在この「第二エルサレム会議」を開催しようと様々な働きかけや会議が繰り返されています。もし開催されましたら、2000年ぶりにユダヤ人信者が出席する会議となるのです。それまでは、ユダヤ人信者のいない会議が大半を占めていました。(紀元325年に開催されたニカイヤ公会議などが例。)